

改訂前の構成

(1) 多種多様な動植物が生息・生育しやすい環境づくり

イ 希少生物をはじめとして、生物が生息・生育しやすい環境をつくる	
背景	佐潟では、国のレッドリスト、本市のレッドデータブックに掲載されている動植物が多数確認されている。植物では、レッドリスト(環境省 2012)及びレッドデータブック(新潟市 2010)で絶滅危惧Ⅱ類であるオニバスの群落が国内の分布の北限に近く、国内有数の群落規模を誇っている。また鳥類ではレッドリスト(環境省 2012)絶滅危惧ⅠB類、レッドデータブック(新潟市 2010)では準絶滅危惧であるチュウヒが越冬しており、佐潟の生態系の頂点に位置している。これら希少生物の保全・保護に関して、佐潟全体における生態系の保全が求められている。
今後の取り組み	○適切な維持管理 適切な維持管理を行うための基礎資料として、定期的にモニタリング調査を実施し、どのような希少生物が生息・生育しているかを把握する。また、確認された希少生物が、継続的に生息・生育できるような自然環境の維持管理方法を検討する。
実施状況	26年度 西区建設課 「専門家からの除草指導」 平成 26 年度佐潟公園管理計画調査委託を行い、佐潟公園の年間管理業務委託に際し、定期的なモニタリングを踏まえつつ、専門家から除草指導を受けた上で年間管理業務を行った。 環境政策課 (公財)新潟県都市緑化センターと連携し、佐潟の希少植物調査を実施。また佐潟浚渫事業とあわせて、浚渫土壌の埋土種子に関する調査も行った。調査結果は 3 月の第 20 回佐潟周辺自然環境保全連絡協会で報告した。
	27年度 (公財)新潟県都市緑化センター、環境政策課 平成 26 年度に引き続き、佐潟の希少植物(絶滅危惧種)の生育状況調査を実施。また佐潟浚渫事業とあわせて、浚渫土壌に含まれる埋土種子に関する調査も行った。調査結果は平成 28 年 3 月開催の第 22 回佐潟周辺自然環境保全連絡協会で報告した。
効果と課題	27年度 (公財)新潟県都市緑化センター、環境政策課 オニバス、オオトリゲモ、ヤナギトラノオ、シラスゲなどの希少種の確認を行った他、浚渫土にオオトリゲモやミズアオイなどの絶滅危惧種を確認した。 定期的に植物のモニタリング調査を行うことで、希少植物の動向を把握することができた。
次年度予定	28年度 (公財)新潟県都市緑化センター、佐潟水鳥・湿地センター、環境政策課 引き続き、佐潟の希少植物(絶滅危惧種)の調査を実施すると共に。湿地水鳥・湿地センター前で佐潟内に見られる希少種の展示を実施する予定。

基本的な方針 I

生態系の変化や水質汚濁など、環境上の諸問題に対しては、佐潟の自然環境が持つ浄化能力を活かした方法で解決することを基本としながら、かつて里潟として人の手が加えられていたように、人との関わりのなかで多くの動植物が生息・生育する環境を守り育てていく。

(1) 多種多様な動植物が生息・生育しやすい環境づくり

イ 希少生物をはじめとして、生物が生息・生育しやすい環境をつくる

背景	これまでの内容を記載	
取 組 み 今 後 の 取 組 み	「今後の取り組み」→「取り組み目標」へ変更 ※記載内容はこれまでの内容を記載	
実 施 状 況	28 年 度	○実施状況は単年度のみ掲載とする ○各内容の冒頭に「新規」、「継続」、「拡充」を表記する。 デザイン案 新規 継続 拡充 ※各団体への聞き取り項目
効 果 と 課 題	28 年 度	○従来の記載内容 ※各団体への聞き取り項目
次 年 度 予 定	29 年 度	○従来の記載内容 ※各団体への聞き取り項目